



Automatic control Telework Booth

Massimo - IOT

For all business

全てのビジネスシーンに対応

Design - Pursuit of functionality and beauty

機能性と美を追求したデザイン



Design - Pursuit of functionality and beauty

完全無人運営システムを標準装備

Massimo-IOTは精密機器となりますので、完成品での販売のみとなります。

※ご購入時には、搬入場所
搬入経路をご確認ください。

外形 : W100 × D100 × H215cm
内寸 : W88.2 × D88.2 × H195cm
材質 : 本体/LGS /木 /PB/ポリ
重量 : 240kg

Specification - Everything you need

仕様



【機能】

- ・適切な防音性能を備え、換気扇で空気を循環させることでブース内の温度を一定に保ちます。
- ・デスクとコンセント類、そして天井部のLED照明も標準装備です。
- ・消防法に準拠した仕様
- ・スマートIOTシステムが標準装備しておりますので、設置した時から、「予約決済システム」による収益化が可能です。

【標準装備】

- ・防音壁（グラスウール入り）・採光ガラス・LED照明・換気ファン
- ・消防予通知 第622号対応済・電源（100v×2）USBポート
- ・キャスター付き（稼働可能）

【IOT機能】標準装備機能

- ・音声マネジメントシステム・・・予約時間を音声でお知らせ
- ・自動制御IOTシステム・・・空調・照明・スマートロックを予約時間で制御
- ・環境表示システム・・・温度、CO2濃度、騒音計測表示
- ・空き時間表示・・・残り時間を画面でお知らせ（延長決済可能）
- ・予約管理機能・・・自社HPに連動可能な独自の予約システム
- ・DropIn（飛び込み利用）・・・Web予約の他に、飛び込み利用が可能（PayPay払い）

IOT無人化運営サービスとは

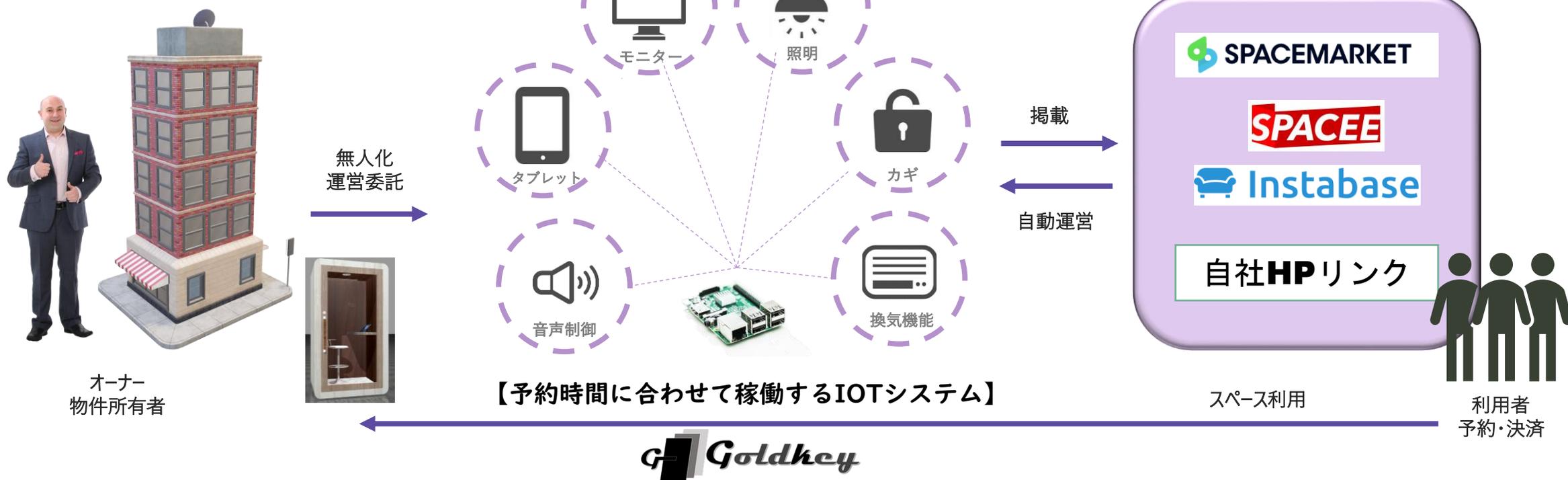
【遊休スペースの有効活用】

①遊休スペースの短期収益化

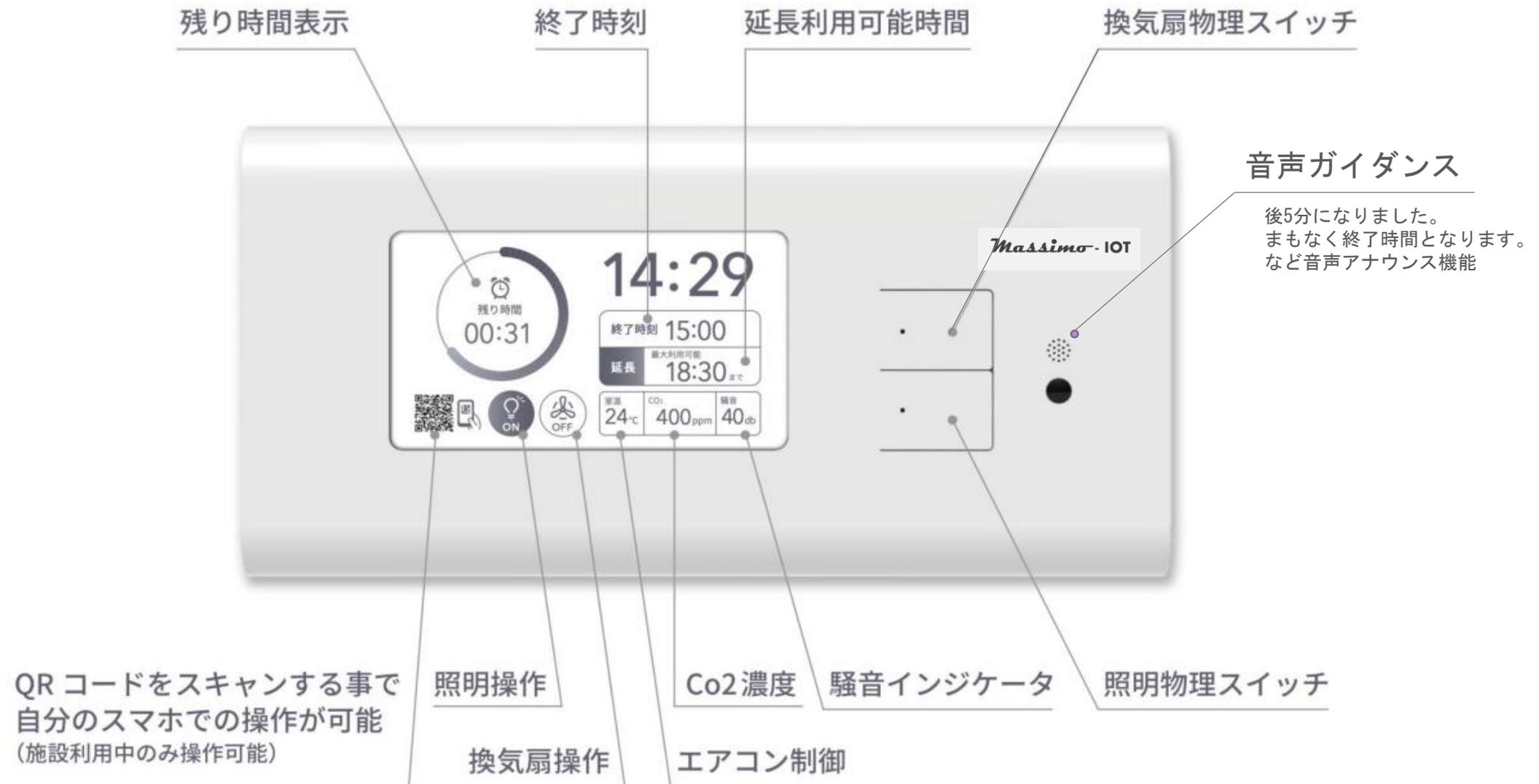
②コスト削減

③空きビル、空きテナントのイメージアップ

・当社がオーナー様に代わって、立地調査、企画デザイン、施工、利用者問合せ対応、運営に係わるすべてのオペレーションをIOT化し、運営を自動化致します。



Massimo-IoTでできること



本体はネットを介してクラウドと連携。自動オペレーションを可能にします。

精密機器が内蔵された未来のテレワークブース

完全無人運営システムを実現



中部国際空港（セントレア）に「Massimo-IoT」設置!!

Centrair Group News

centrair

2022年3月23日

中部国際空港株式会社
Central Japan International Airport Co., Ltd.

第1ターミナル3F 国際線ラウンジスペース

セントレアの魅力創出・課題解決に向けた 「centrair×スタートアップピッチ 2021」採択企業を決定

中部国際空港株式会社は、セントレアの魅力創出・課題解決を目的に、スタートアップ企業から募集テーマに沿った事業提案を募集する「centrair×スタートアップピッチ2021」において、採択企業3社を決定いたしました。

■centrair×スタートアップピッチ 2021 採択企業 3社 ※2次審査発表順

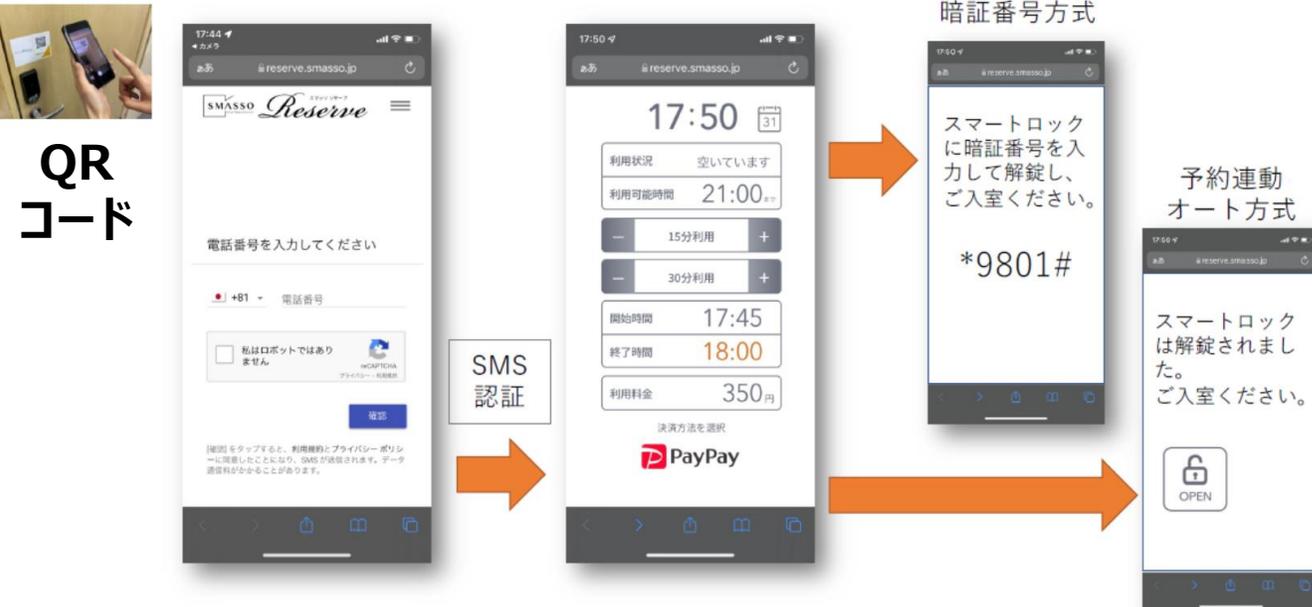
採択企業	提案概要	
	目指す姿	実証実験内容
株式会社NearMe	スマートシャトル®(相乗りタクシー)の浸透による「新たな移動手段の提供」とカーボンニュートラルの実現	移動時間を使った消費体験の向上や深夜早朝の職員送迎等の実現性の検討
株式会社GoldKey Co.,Ltd	ターミナル内の各所へテレワークブースを展開し、空きスペースの有効活用	半年間程度2台設置し、事業性確認
株式会社バカン	混雑度を把握しお客様へ提供することで、スムーズに空港を利用でき、また行きたくなる“楽しい場所”とするための「空港DX」の実現	過去データと収集データを解析した駐車台数の予測モデルの構築



Massimo-IoT新聞記事

今までのテレワークブースは予約が必要でしたが、今回の「Massimo-IOT」は、空いている時に自由に利用できる「DROP IN」機能も完備されています。

Web予約ページを探して、利用者登録（クレジットカード登録）をすることなく、QRコードを読み取るだけで、PayPay支払いで「即利用開始」することが可能となりました!!



約30秒で利用開始

中部経済新聞

2022年(令和4年) 5月3日 火曜日

発行所 中部経済新聞社 千450-8561 名古屋市中村区 名駅4-4-10

編集局 052(561)5212
 読者相談 052(561)5216
 広告部 052(561)5213
 事業部 052(561)5675
 総務部 052(561)5215
 東京支社 03(3572)3601
 ©中部経済新聞社2022
 購読のお申し込み 0120-605-123

テレワークブース事業拡大

中部空港に 年度内100台販売へ

ゴールドキーカンパニーリミテッド



木全雅仁社長

マンション管理アプリ開発のゴールドキーカンパニーリミテッド(本社名古屋市長東栄町の15の26、木全雅仁社長)は、テレワークブース事業を拡大する。予約や空調制御、課金を連動させた自動化システムを搭載した新商品を開発した。5月中にも中部国際空港(常滑市)に設置する。同空港の設置を弾き、2022年度にテレワークブースの販売台数を現状比4割増の100台を目指す。コロナ禍でテレワークの利用が増えたほか、商業施設などの遊休スペースの新たな収益源として需要を見込んでいる。(山田悠)



テレワークブースの設置事例

空調や照明などを自動で制御するシステムを採用した、ICカードやスマートフォンなどの開錠方法をサポートするスマートロックを活用し、無人で予約の管理や運営が可能になる。予約に加え、誰も利用していない場合、予約なしでも立ち寄れる。

新商品は中部国際空港が昨春秋、空港の魅力創出と課題解決を目的に募集した事業「セントレアスター・トアップビッチ2022」に採択された。今年5月に空港に納品し、設置準備に入る。2台を半年間程度設置し、事業性を確認する。利用料金は15分220円の予定。

テレワークブースはキャッシュカード付きのため、設置自由度高い。商業施設やテナントに活用し、契約が決まれば、次の空きテナントの移動までといった活用ができる。

空港や駅構内、商業施設

トヨタEV月8万8千円 サブスクで12日から受け付け

トヨタ自動車は、白、定額1万円の申込みがスタートした。EV系のサブスクリプションサービス「EVリース」を提供する。最新の電気自動車「bZ4X」の月額料金を2万8千円から2万5千円に引き下げた。居住地域によって自治体の補助をさらに減額できる場合がある。別に77年目以降に国の補助金適用

最初の4年の料金は国の補助金適用で減額する。5年目以降に国の補助金適用はサブスクで提供する。電

Colouring

豊富なカラーバリエーション

・グランデシリーズのNo3～から選択が可能・・・耐火素材メラミン化粧板加工

フルオーダー仕様も可能です。
価格については、別途ご相談ください。

3 グランデブラック



4 グランデブラック



5 グランデブラック



6 グランデホワイト



7 グランデホワイト



8 グランデホワイト



9 グランデウッド



10 グランデウッド



Colouring

グランデシリーズは 豊富なカラーバリエーションから選択が可能。

11 グランデウッド



12 グランデウッド



13 グランデウッド



14 グランデストーン



15 グランデストーン



16 グランデストーン



17 グランデカラー



18 グランデカラー



19 グランデカラー



20 グランデカラー



マッシモ シリーズのお問合せ先

株式会社 Gold Key Co.,Ltd

名古屋市東区東桜2-15-26 朝日ビル2F

営業時間 9:00 ~ 18:00 (土日祝除く)

☎ **052-228-0724 (代表)**

FAX 052-228-0704

または、✉ info@goldkey.co.jp